

基礎研究と 事業化の谷を越える

「企業で基礎研究は続けられますか？」

この問いに対する解は一意に定まらない。なぜなら、大学における「基礎研究」と企業における「基礎研究」はその意味が異なる可能性があるからである。

企業における基礎研究は元来ステークスホルダーの要請によって事業化を見据えて計画されるべきものであり、アカデミアにおけるボトムアップ的な問題発見のプロセスとは異なるかもしれない。

本セミナーでは、企業において基礎研究の経験に併せて基礎研究の成果を事業化につなげる実務の経験もある貴重な講演者2名を招待し、さらに筑波大学において産学連携を担当されている先生に依頼し、事業化を目的とした基礎研究のありかた、基礎研究を事業化につなげる際の問題点、これから求められる博士像などについてご講演いただく。

開催日時 2015年6月12日(金) 12:15-15:00

開催場所 第三エリア 3B213

言語 日本語

講師 西條 直樹 先生（日本電信電話株式会社 研究企画部門 プロデュース担当 主任研究員）
正木 信夫 先生（株式会社 ATR-Promotions 脳活動イメージングセンタ長）
内田 史彦 先生（筑波大学教授 国際産学連携本部 本部審議役）



西條 直樹 先生



正木 信夫 先生



内田 史彦 先生

PH.D. PROGRAM IN EMPOWERMENT INFORMATICS

2015 THE 4TH MEETING OF EMP SEMINAR SERIES